

「広域需給シミュレーションツールの購入」への質問に対する回答

No.	質問日	仕様書等該当箇所 (ページ、項目等)	質問	回答
1	2018/8/23	入札説明書 2頁 10. 契約書の提出 入札仕様書 3頁 11. 支払条件	(1) 契約書(案)は入札者側が作成・提出するという理解で良いか。 (2) またソフトウェアのライセンス費用の支払時期等は契約書(案)を基に別途ご協議頂けるとの理解で良いか。	(1) 契約書(案)は、入札者側が作成・提出する。 (2) ソフトウェアのライセンス費用の支払時期等は、契約の際に協議する。
2	2018/8/23	入札説明書 12. 入札書等に使用する言語及び通貨	(1) 9月21日のプレゼンテーションは、海外とのテレビ会議の形式でさせていただくことは可能か。 (2) それとは別に、プレゼンテーションがいずれの場所で行われるにせよ、プレゼンを英語で行い、日本語通訳が付く、という形で行うことは可能か。 (3) あるいは、日本語のプレゼンテーションと記載があるが、提出物は日本語で行い、プレゼンは英語で行うことは、まったく受け入れられないか。 (4) 上記それぞれにつき、受入れられるものの評価上減点の対象となるか。	(1) 当機関には、外部と接続できるテレビ会議システムはございません。 (2) プレゼンテーションを英語で行ったうえで日本語通訳で実施することは可能です。 (3) 英語のみで実施することは受け入れられません。(技術審査の評価を行いません) (4) (1)、(3)については受け入れられません。(2)について、評価上減点の対象にはなりません。
3	2018/8/23	入札仕様書	(1) 仕様書の5.検証に向けたサポート体制の(サ)ツールの拡張性において、パッケージソフトとマニュアルの完全日本語化が将来的に要求されている。この事項は、弊社のパッケージソフトの入札コストを競争力あるものとしないう要因となる。パッケージソフト及びマニュアルの完全日本語化の要求を外していただくことは可能か。 (2) また、受入れられるものの評価上減点の対象となりうるか。	(1) 仕様書に記載している「パッケージソフト及びマニュアルの完全日本語化」については、将来的に国内での普及を想定した場合、貴社の対応スタンスを確認するものであることから、評価の対象としており、要求から外すことはできません。 (例：〇〇ライセンス以上が導入されれば検討できる等) (2) 上記のとおり
4	2018/8/23	入札仕様書 2頁 4. ソフトウェアの納入	(1) ソフトウェアのインストールは、貴機関にて実施するという理解で良いか。 (2) また、サポートを行う場合にはインストール作業はトレーニングもしくはデータ入力サポート実施時に併せて実施すると考えて良いか。	(1) 良い (2) 良い
5	2018/8/23	入札仕様書 2頁 3. ツールの機能(ク)連係線・地内送電線の設定_② フェンス潮流条件	・フェンス潮流制約の考慮に関して、各ブランチの潮流データは先着優先での計画潮流ではなく、間接オークション導入後の連系線運用を想定したものと理解で良いか。	・良い
6	2018/8/23	入札仕様書 3頁 5. 検証に向けたサポート体制 / (ウ) 検証時のサポート	(1) 入札説明会の追加説明について、5. 検証に向けたサポート体制 / (ウ) 検証時のサポートに記載されている①ノードブランチデータ、発電機データ等、当機関が指定したデータ入力作業については貴機関にて実施、そのサポートを弊社が行うこととの理解で良いか。 (2) また、入力データは連系線データ及び発電機データ、入力データ点数は約1000点以下であり、サポート期間は②に示される1週間程度/月に含まれるとの理解で良いか。 (3) また、導入ツール検証作業期間は最長で2018年10月31日～翌年2月28日の4ヶ月間という理解で良いか。	(1) 良い (2) 良い (3) 良い
7	2018/8/23	入札仕様書 3頁 5. 検証に向けたサポート体制 / (ウ) 検証時のサポート ① 6. 使用ライセンス 10. 検収条件	(1) 本入札での検証作業は、日本国内を9エリア(沖縄を除く)から構成されるゾナル モデリング(Zonal modeling)を前提とし、データは2018年実績データを使用されるという理解で良いか。 (2) フェンス潮流を加味したシミュレーションは実施しないと理解しておりますが、良いか。	(1) 良い (2) 良い
8	2018/8/23	入札仕様書 3頁 5. 検証に向けたサポート体制 / (ウ) 検証時のサポート ① 6. 使用ライセンス 10. 検収条件	(1) パーソナルコンピューター3台(スタンドアロン)にパッケージソフトをインストールする予定であるとのことだが、データベース管理及び共有は、どの様に考えているか。(単一の、ベースとなるデータベースをユーザ間で共有し、異なる変更情報をユーザ毎に管理する等) (2) 1つ以上のデータベースを使用する場合、弊社のサポートは1つのデータベース(もしくは1台のコンピューター)を使用して行うことで良いか。 (3) 弊社ソフトウェアのクラウド提供をする場合は、計算パフォーマンス向上や比較的容易にデータベースを共有することが可能。ソフトウェアのクラウド提供による提案は可能か。	(1) ベースとなる1つのデータベースをユーザ間で共有し、シミュレーション条件等の変更分をユーザ毎に管理することを想定している。 (2) 良い (3) 今回の仕様では、ソフトウェアのクラウド提供は、想定していません。

9	2018/8/23	入札仕様書 3頁 1.2. 秘密保持及び個人情報 の保護	<ul style="list-style-type: none"> 入札に際して、提出致します提案書等に記載の技術内容には、弊社機密事項が一部含まれる。入札書及び必要書類提出に際して、秘密保持契約を結ばせて頂きたいと考えておりますが可能か。 	<ul style="list-style-type: none"> 入札書及び必要書類に際し、秘密保持契約を結ぶことは可能
10	2018/8/23	入札仕様書 8頁 8. 納入物	<ul style="list-style-type: none"> (1) 納入物は広域需給シミュレーションツールのソフトウェア及び簡易日本語マニュアルであり、広域需給シミュレーションツールを使用する為に必要となるハードウェア等は、貴機関にてご準備されるという理解してよいか。 (2) 入札説明会でご提示のあったPC等のハードウェアの仕様がソフトウェア側の要求に満たない場合は、弊社から要求仕様の提示を行い、貴機関にて新規に購入頂く事も可能か。 (3) また、購入する場合、スケジュールに関しては、別途協議は可能か。 (4) 簡易日本語マニュアルの納入形態は、電子媒体(PDF形式)での納入は可能か。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) ハードウェアは当機関にて用意する。 (2) ハードウェアの仕様については必要なスペックを準備できると考える。(市販されているPC等の購入は可能) (3) 購入が必要な場合、スケジュールは別途協議できるものとする。 (4) 電子媒体(PDF形式)での納入でも良い。
11	2018/8/23	応札資料作成要領 4頁 3.2 提案書様式	<ul style="list-style-type: none"> 提案書及び評価項目一覧の電子媒体での提出に関して、電子メール宛先をご教示いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 入札説明書14. その他、(3)に記載の問い合わせ先(keivaku@occto.or.jp)と同様する。
12	2018/8/23	適合証明書	<ul style="list-style-type: none"> 適合証明書への記名押印は、入札書と同様に代表者の記名押印で問題ないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題ありません。
13	2018/8/23	評価項目一覧 1.2 ツールの機能	<ul style="list-style-type: none"> (1) 弊社のパッケージソフトは、メリットオーダーを決定するのではなく、Economic Dispatchを行う。また単純な燃料費の最小化ではなく、発電コストすべてを含めた最適化を行うが良いか。 (2) 加えて、弊社パッケージソフトは、ユーザーが定義したDispatchのコミットメントのパターンのサポートしない。これは、今回の要求事項を満たしているか。 (3) また、上記それぞれにつき、受入れられるものの評価上減点の対象となるか。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「発電コストすべてを含めた最適化」は、仕様書が要求する燃料費の最小化よりも、さらに複雑な条件を考慮できる仕様であることから、発電コストの最適化を前提にシミュレーションすることは問題ない。このため、技術審査評価では減点とはしない。 (2) 要求仕様に発電機順位の設定があり、優先給電ルールやマストラン電源等の制約条件を考慮できなければ精緻なシミュレーション結果が得られないことから、発電機順位のパターン入力はできなくとも、シミュレーションで実現できる方法があることが必要である。よって、技術審査では、パッケージソフトの機能としてサポートしない場合は、そのパターン設定を行う為の具体的な代替案をご説明頂きたい。 (3) したがって、シミュレーションツールで代替案がない場合、基礎点「ツールの機能」を満たしていないものとする。
14	2018/8/23	評価項目一覧 1.3 ツール保守及び将来的な拡張性	<ul style="list-style-type: none"> (1) 弊社パッケージソフトはインプットとアウトプットのデータのテキスト化は可能だが、通常のアウトプットデータがExcelのフォーマット出力である。出力がExcelフォーマットのままであれば、評価上減点の対象となるか。 (2) CPATとはどのようなツールか。このツールについての説明(特に開発者による英語の説明物があれば)をいただけますでしょうか?特にCPATは、どういったインプット・アウトプットデータのフォーマットを使っているのか。 (3) 拡張性について、「信頼度分析に関わる拡張性」が記載されている。貴機関はどのような信頼度分析のツールを使用しているのか。 (4) また、弊社パッケージソフトの信頼度分析はMonte Carlo Simulationを用いて、LOLE/LOLP信頼度の計算を行うが、この方法とは異なるアプローチを行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) Excelのフォーマット出力からテキストデータへの変換は容易であることから、評価上減点の対象としないこととする。 (2) CPATとは一般財団法人電力中央研究所が開発した「電力系統統合解析ツール CPAT®」のことを指す。当該ツールにて潮流解析、過渡・定常安定度解析、電圧安定性解析、短絡容量解析等を行うことから、発電機や負荷、調相設備といったノードデータ及び送電線や変圧器等のブランチデータ、および発電機定数データ等を入力しており、ノード・ブランチデータ等は共有できると考えている。具体的なデータが必要であれば個別にお問い合わせください。 (3) 一般財団法人電力中央研究所が開発した必要予備力算定ツールを用いて信頼度分析を行っている。 (4) 具体的な信頼度分析の手法は「調整力等に関する委員会 中間取りまとめ」とおり、モンテカルロシミュレーションを活用してLOLE/LOLP及びEUEの計算を行っている。 <p>https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/torimatome.html</p>
15	2018/8/23	評価項目一覧 2.1 ツール導入及び検証作業等の実施計画	<ul style="list-style-type: none"> (1) 説明会にて、10月の締め切りには現状のパッケージソフトを納入することで良いという話であったが、日本語バージョンに関して2月の納入期限に最小限の日本語バージョン(インターフェイスのみの日本語版)を納入するということは可能か。(期限と、必要となる労力、コストを鑑みると、2月末の期限に弊社にとって実現可能なのは、最小限の日本語バージョンを納めることとなる見通し。) (2) また、評価上減点の対象となるか。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 本入札の仕様書が要求する事項は必要最低限のマニュアルの翻訳(仕様書の5.(イ))であり、インターフェースは英語のままでも可とする。 (2) したがって、技術審査の減点とはならない。